

(2枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 1 次の表は、平成20年3月告示の中学校学習指導要領 美術 の内容の構成をまとめたものです。これに関して、下の1・2に答えなさい。

内容の構成 (全学年)		
領域	項目	事項
		事項
A表現	(1) 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	ア 主題の創出 イ 主題などを基にした表現の構想
	(2) 目的や機能を考えた発想や構想	ア 構成や装飾を考えた発想や構想 イ 伝達を考えた発想や構想 ウ 用途や機能などを考えた発想や構想
	(3) 発想や構想をしたことなどを基に表現する技能	ア 創意工夫して表現する技能 イ 見通しをもって表現する技能
B鑑賞	(1) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう鑑賞	① 造形的なよさや美しさなどに関する鑑賞 ② 生活を美しく豊かにする美術の働きに関する鑑賞 ③ 美術文化に関する鑑賞 ※2
共通事項 ※1	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して指導	ア 形や色彩などがもたらす感情の理解 イ 対象のイメージの把握

※1 「共通事項」は、「A表現」及び「B鑑賞」において、共通に必要な資質や能力であり、すべての学習活動の支えとなるものである。

※2 「B鑑賞」の事項については、第1学年では指導事項のアが①、イが③、第2学年及び第3学年では指導事項のアが①、イが②、ウが③である。

1 平成20年3月告示の中学校学習指導要領 美術 指導計画の作成と内容の取扱い 1 (1) には、「A表現」及び「B鑑賞」の指導については相互に関連を図るようにすることが示されています。表現と鑑賞の指導の関連を図る必要があるのはなぜですか。簡潔に書きなさい。

2 「A表現」の指導計画の作成に当たって、留意すべきことは、何ですか。第1学年における指導計画の作成、第2学年及び第3学年における指導計画の作成について、それぞれ簡潔に2つ書きなさい。

- 2 第3学年において、教科書に載っている東洲斎写楽の「大谷鬼次の奴江戸兵衛」、レンブラントの「自画像」、ゴッホの「包帯をした自画像」の3つの作品を生徒に提示し、浮世絵と西洋の絵画を比較鑑賞する授業を、ワークシートを用いて行うこととします。これに関して、次の1～3に答えなさい。

1 東洲斎写楽の「大谷鬼次の奴江戸兵衛」について、生徒に「この作品は、浮世絵といい、江戸時代に発達した絵である。」と説明したところ、生徒から、「『浮世絵』は人物画だけなのか。」という質問を受けました。あなたは、この質問に対してどのように説明しますか。書きなさい。

2 この題材の目標を達成するためには、どのようなことに留意してワークシートの設問を設定することが大切ですか。簡潔に2つ書きなさい。

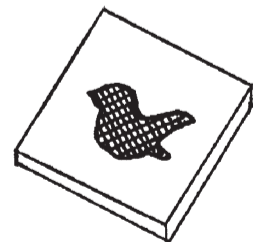
3 鑑賞が授業としての学習だけでなく、生徒が日頃から鑑賞に親しむことができるように、鑑賞の環境づくりに取り組むこととします。鑑賞に対する生徒の興味、関心を高めるようにするためには、どのような取組が考えられますか。簡潔に2つ書きなさい。

(2枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 3 第2学年において、彫刻で表現する学習を行うこととします。これに関して、次の1・2に答えなさい。
- 1 「躍動感」をテーマに主題を設定させ、材料を用いて人物像を表すことをねらいとする授業を行うこととします。次の(1)・(2)に答えなさい。
- (1) 生徒Aは、主題を生み出す段階でつまづくことが多い生徒です。「何をつくりたいのか、どういう思いで表現しようとしているのか」という生徒Aの作品の表現意図を引き出すために、あなたは、どのような指導を行いますか。簡潔に書きなさい。
- (2) 生徒Bは、躍動感を表現するために「動きの一瞬を表す」という主題を設定して人物像の制作に取り組んでいましたが、自分の表現意図に合う新たな表現方法が思いつかず、制作が進まなくなっていました。生徒Bが試行錯誤し「動きの一瞬」を創造的に表現できるようにするためには、どのような言葉をかけますか。簡潔に2つ書きなさい。
- 2 制作途中の土粘土の作品を、可塑性を保つように保管するためには、どのようなことに留意する必要がありますか。簡潔に書きなさい。
- 4 第3学年において、使われる場面や目的に応じた椅子をデザインすることをねらいとして模型を制作する学習を行うこととします。この題材を学習活動のまとめりごとに第1次から第4次までの全9時間で指導する場合、どのような学習活動及び指導上の留意事項を設定しますか。学習活動のまとめりごとに、第1次から第4次までそれぞれ簡潔に書きなさい。
- 5 第1学年において、水彩絵の具を使って身近な人を描く学習をすることとします。これに関して、次の1・2に答えなさい。
- 1 身近な人をスケッチする際に、対象を正確に捉えて描かせるようにするためには、どのようなことに留意させる必要がありますか。簡潔に2つ書きなさい。
- 2 身近な人の雰囲気を感じ取らせたり、特徴を見つけさせたりするためには、どのような指導を行いますか。簡潔に2つ書きなさい。
- 6 第1学年において、木を材料として鍋敷きをつくる学習を行うこととします。これに関して、次の1・2に答えなさい。
- 1 工芸作品の材料として、木を用いることの利点は何ですか。簡潔に2つ書きなさい。
- 2 右図のように、切り抜く部分のあるデザインを条件とし、図の網掛け部分を電動糸のこ盤を使って切り抜く方法について、生徒に分かりやすく説明するための配付資料を作成することとします。切り抜く手順を資料にどのように示しますか。手順は4工程とし、簡単な図と文を用いて、それぞれかきなさい。



- 7 1枚のティッシュを指で掴んでいる手を想像し、鉛筆で陰影をつけて、立体感や質感が現れるようにデッサンしなさい。

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
1	1		
	2	第1学年	
		第2学年及び第3学年	
2	1		
	2		
3			

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
3	1	(1)	
		(2)	
	2		
4	次	学習活動	指導上の留意事項
※ 必要に応じて線を引いてもよい。			
5	1		
5	2		

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄		
6	1			
	2	手順1	(図)	(文)
		手順2	(図)	(文)
		手順3	(図)	(文)
手順4		(図)	(文)	

28

中学校 美術科 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号	解答欄
7	